【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和7年6月27日(2025.6.27)

【公開番号】特開2023-106095(P2023-106095A)
【公開日】令和5年8月1日(2023.8.1)
【年通号数】公開公報(特許)2023-143
【出願番号】特願2022-7235(P2022-7235)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　６６１
Ａ６３Ｆ　5/04　６０３Ｅ
Ａ６３Ｆ　5/04　６０３Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和7年6月19日(2025.6.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は、このような点に鑑みてなされたものであり、遊技機において実施可能なメンテナンスの処理制御が向上した遊技機を提供することを目的とする。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本実施形態に係る遊技機は、
遊技機において、
表示手段（図３のメイン表示装置２１０、サブ表示装置２２０）と、
遊技機本体に開閉自在に取り付けられたドア機構（図１のドア機構ＵＤ，ＤＤ）と、
前記ドア機構の開閉状態を検知する開閉検知手段（図３のドア開閉監視スイッチ５６）と、
設定用鍵型スイッチ（図３の設定用鍵型スイッチ５２）と、
前記遊技機において実施可能なメンテナンスに関わるメンテナンス処理を実施するメンテナンス処理手段（図３のメインＣＰＵ１０１）と、
前記メンテナンスの対象であり、前記ドア機構に配される演出装置（図３のメイン表示装置２１０やサブ表示装置２２０）と、
を備え、
前記メンテナンス処理手段は、
前記メンテナンス処理において、前記ドア機構が開状態、且つ、電源投入時の前記設定用鍵型スイッチがオンであるという所定の条件の成立に基づいて、前記表示手段にメンテナンスメニュー画面（図５５）として前記遊技機において実施可能な複数種類のメンテナンスのうちの一部である所定のメンテナンスに対応する所定のメンテナンスメニュー画面を表示する所定のメンテナンス処理を行い、電源投入後に前記設定用鍵型スイッチがオフからオンに変化し、且つ、前記ドア機構が開状態であるという特定の条件の成立に基づいて

、前記表示手段に前記メンテナンスメニュー画面として前記遊技機において実施可能な複数種類のメンテナンスのうちの一部であり、前記所定のメンテナンスとは異なる特定のメンテナンスに対応する特定のメンテナンスメニュー画面を表示する処理を含む特定のメンテナンス処理を行い、当該特定のメンテナンス処理の実行中に前記設定用鍵型スイッチがオフになるという条件の成立により、当該特定のメンテナンス処理を終了し、前記ドア機構の開閉状態の変化では、前記特定のメンテナンス処理における、前記特定のメンテナンスメニュー画面を表示してから前記特定のメンテナンス処理が終了するまでの処理に変化がなく、
前記所定のメンテナンス処理において、
前記所定の条件の成立に基づいて設定変更中である旨を示す設定変更画面を前記表示手段に表示し、
前記設定変更画面を表示した場合において、前記所定の条件が成立していても、当該所定の条件が成立した後に、前記開閉検知手段による検知結果が前記ドア機構の閉状態とならずに前記ドア機構の開状態のままであるときには、前記所定のメンテナンスメニュー画面を前記表示手段に表示せず、
前記設定変更画面を表示した場合において、前記所定の条件が成立しており、当該所定の条件が成立した後に、前記設定用鍵型スイッチがオンのまま前記開閉検知手段による検知結果が前記ドア機構の閉状態となったときには、前記所定のメンテナンスメニュー画面を前記表示手段に表示し、
複数種類の図柄を可変表示する可変表示列を複数有する変動表示手段（図１のリール３Ｌ，３，３Ｒ）と、遊技者の操作により前記変動表示手段の表示図柄の変動を開始させる開始操作手段（図１のスタートレバー７）と、遊技者の停止操作に基づいて前記可変表示列それぞれの可変表示を停止させる停止操作手段（図１のストップボタン８Ｌ，８Ｃ，８Ｒ）とをさらに備え、全ての前記可変表示列が停止したときの図柄組合せに応じて遊技用価値が付与され、所定の実行条件の成立により疑似的な疑似遊技を行い、
前記開始操作手段の操作時点からの前記疑似遊技には第１の制限時間があり、前記第１の制限時間中に前記停止操作手段の操作がない場合には、前記変動表示手段の表示図柄の仮停止と、該仮停止から第２の制限時間の経過後に前記変動表示手段の表示図柄の再変動を順次行う
ことを特徴とする。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本実施形態に係る遊技機によれば、遊技機において実施可能なメンテナンスの処理制御が向上した遊技機を提供できる。

【手続補正４】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技機において、
表示手段と、
遊技機本体に開閉自在に取り付けられたドア機構と、
前記ドア機構の開閉状態を検知する開閉検知手段と、
設定用鍵型スイッチと、

前記遊技機において実施可能なメンテナンスに関わるメンテナンス処理を実施するメンテナンス処理手段と、
前記メンテナンスの対象であり、前記ドア機構に配される演出装置と、
を備え、
前記メンテナンス処理手段は、
前記メンテナンス処理において、前記ドア機構が開状態、且つ、電源投入時の前記設定用鍵型スイッチがオンであるという所定の条件の成立に基づいて、前記表示手段にメンテナンスメニュー画面として前記遊技機において実施可能な複数種類のメンテナンスのうちの一部である所定のメンテナンスに対応する所定のメンテナンスメニュー画面を表示する所定のメンテナンス処理を行い、電源投入後に前記設定用鍵型スイッチがオフからオンに変化し、且つ、前記ドア機構が開状態であるという特定の条件の成立に基づいて、前記表示手段に前記メンテナンスメニュー画面として前記遊技機において実施可能な複数種類のメンテナンスのうちの一部であり、前記所定のメンテナンスとは異なる特定のメンテナンスに対応する特定のメンテナンスメニュー画面を表示する処理を含む特定のメンテナンス処理を行い、当該特定のメンテナンス処理の実行中に前記設定用鍵型スイッチがオフになるという条件の成立により、当該特定のメンテナンス処理を終了し、前記ドア機構の開閉状態の変化では、前記特定のメンテナンス処理における、前記特定のメンテナンスメニュー画面を表示してから前記特定のメンテナンス処理が終了するまでの処理に変化がなく、
前記所定のメンテナンス処理において、
前記所定の条件の成立に基づいて設定変更中である旨を示す設定変更画面を前記表示手段に表示し、
前記設定変更画面を表示した場合において、前記所定の条件が成立していても、当該所定の条件が成立した後に、前記開閉検知手段による検知結果が前記ドア機構の閉状態とならずに前記ドア機構の開状態のままであるときには、前記所定のメンテナンスメニュー画面を前記表示手段に表示せず、
前記設定変更画面を表示した場合において、前記所定の条件が成立しており、当該所定の条件が成立した後に、前記設定用鍵型スイッチがオンのまま前記開閉検知手段による検知結果が前記ドア機構の閉状態となったときには、前記所定のメンテナンスメニュー画面を前記表示手段に表示し、
複数種類の図柄を可変表示する可変表示列を複数有する変動表示手段と、遊技者の操作により前記変動表示手段の表示図柄の変動を開始させる開始操作手段と、遊技者の停止操作に基づいて前記可変表示列それぞれの可変表示を停止させる停止操作手段とをさらに備え、全ての前記可変表示列が停止したときの図柄組合せに応じて遊技用価値が付与され、所定の実行条件の成立により疑似的な疑似遊技を行い、
前記開始操作手段の操作時点からの前記疑似遊技には第１の制限時間があり、前記第１の制限時間中に前記停止操作手段の操作がない場合には、前記変動表示手段の表示図柄の仮停止と、該仮停止から第２の制限時間の経過後に前記変動表示手段の表示図柄の再変動を順次行う
ことを特徴とする遊技機。